

中学校長会研究集録

第 2 集

昭和 51 年 2 月

大分県中学校長会研修部編

研究集録第2集の編成に当って

大分県中学校長会長 松 永 博

大分県中学校長会は、昨年度全九州中学校長研究協議会大分大会を盛会裏に終了させ、「研修する校長会」の実を挙げたのでありますが、更に後半、この余力をかけて「研究集録第1集」を発行して、各方面から讃辞をいただいたのであります。

ご承知の如く、大分県小中学校長協議会が組織を改め、待遇改善、地位の向上、権利の擁護等を全面的に推進してくれるようになってからは、私どもの中学校長会は、研究に専念できる団体となったわけで、本年度も前半は全国大会、九州大会につながる課題を掲げての大分県大会（佐伯市）、後半は、各中学校、各地域での自由な研究をまとめ、全県に交流する研究集録の編集——が研修の2本の柱となって一応定着したかの観があります。

そのような意味から、本年度は早めに研究部の方でその計画を発表し、うち合わせをしていただいて、準備を進めたのであります。

集りました原稿は、第1集に比べ分量は可成り減りましたが、学校現場で、或は校長会研修の郡市毎に、日頃校長として悩まれた問題や、積み重ねられた研究等がテーマとして挙げられており、大いに参考となるものと期待しております。

ひるがえって教育界の現状を見ますに、主任の制度化をめぐる問題を始め、現場に風波の絶え間はなく、国会論争はもとより、全国民の眼が教育に注がれていることは申し上げる迄もありません。われわれ校長の一挙手一投足が教育の流れに及ぼす重大なエネルギーとなることを自戒しつつ、更に研修を進めて行きたいものだと思願する次第であります。

終りになりましたが、原稿を執筆くださった郡市の校長さん方に厚く御礼を申し上げて筆をおきます。

（昭和51年1月31日）

目 次

- 研究集録第2集の編集に当って(大分県中学校長会長 松永 博)…………… 1
- 1 中津市における同和教育について(中津市今津中学校長 田尻俊夫)…………… 2
- 2 学校体育施設の解放について(下毛郡山国中学校長 中野 克己)…………… 7
- 3 学校教育、社会教育、家庭教育の関連(西高郡市真玉中学校長 今熊正則)…………… 11
- 4 同和教育の取扱いに対する研究(宇佐中学校長 池田 勉)…………… 16
- 5 クラブ活動の現状と問題点(別府市立中部中学校長 明石武士)…………… 21
- 6 給食残量ゼロを目指した杵築中方式(杵築中学校長 矢野 章)…………… 27
- 7 小規模中学校経営の課題(東国東郡国東町立城崎中学校長 一丸 泉)…………… 32
- 8 自分で自分の能力を伸ばす指導の在り方(大分市立上野ヶ丘中学校長 若杉俊秀)…………… 35
- 9 全職員がいきいきと教育実践にとりくむための経営の在り方はどうあればよいか…………… 45
(北海部郡中学校長会研究部 富来真平)
- 10 「主体的に学習にとりくむ生徒を育てる」 わかる授業をつくる…………… 49
(臼杵市立南中学校長 飯沼興次)
- 11 期待される教師像 (津久見市立四浦中学校長 滝本信夫)…………… 53
- 12 特別活動における安全教育と効果的にすすめるには、どのようにすればよいか…………… 57
(大分郡湯布院中学校長 佐藤岩夫)
- 13 校内研修のあるべき姿と、それにまつわる諸問題(宇目中学校長 清家 湛)…………… 61
- 14 学校経営について (大野郡大野町立大野中学校長 秦 義博)…………… 71
- 15 日田市中学校における部活動の現況について(日田市立東部中学校長 小宇佐尚友)…………… 75
- 16 家庭教育の現状とその望ましい方向をさぐる (日田郡校長会)…………… 83
- 17 L1を導入した英語教育の現断面 (玖珠郡八幡中学校長 中村敏男)…………… 86
- 18 人間尊重をめざす学校経営 (直入郡久住中学校長 大津景一)…………… 90
- 19 へき地校における生徒指導に思う(日出町立南端中学校長 糸長英夫)…………… 96

中学校長会研究集録

第 3 集

昭和52年 2 月

大分県中学校長会研修部編

はじめのことば

大分県中学校長会長 畔津九郎

毎日新聞社説

- 50. 4. 11 「楽しい学校」であるために
「学校は本来、子供たちにとって楽しい場所であるはずだ。日々の授業は子供たちの強い知識欲を満足させてくれるだろう。なんでも話し合える友だちもいる。思いきって遊べる運動場もある。…… これまでの情性のままに進んでいたのでは、せっかく喜び勇んで新学期を迎えた子供たちも、日ならずして強い幻滅を味わうことになるだろう。……」
- 51. 4. 6 学校の信頼を回復するには
主任制のトラブルを学校に持ち込まれたら、それこそ子供たちの期待など吹っ飛んでしまう。「いつも子供たちがいること、子供たちの澄んだ目が見つめていることを忘れてはなるまい。」
「恐らく、いまほど一般に学校不振の声の強い時はなかったのではなかろうか。根強い学校不信に正面から立ち向かって欲しい。」さらに江崎、広中対談が引用されている。
- 52. 2. 2 教育の荒廃と教師の責任
日教組の教研集会をとりあげ、教育課程の改革について教師の在り方を論じているが「集会初日のあいさつの中で楨枝委員長は教師が『内なる自分自身の荒廃とたたかう勇気を持たねばならぬ』閉会集会では『教師の力量を高める絶えざる努力を』とのアピールを採択した。これらの言葉がすべての教師の胸に銘記されなければならない。教育の荒廃に教師は重い責任を負っている。」と強い語調で訴えている。
- 長々と一新聞の論説を引用させていただいたが、胸をえぐられる思いがいたしますので敢えてとりあげました。
明治の学制発布以来百年を経過いたしました。今や教育には大転換が迫られていると思われてなりません。子供一人一人に教育が成立しているのか。教師の情熱はこれでよいのかという教育の根底が問いなおされねばならない時が来たと思います。
- 校長は教師集団の先頭に立って、新しい時代の教育を求め、斗おうではありませんか。妥協、なれあい、その場のがれをかなぐり捨て教育の創造に向って発想の転換をはかろうではありませんか。
- 素晴らしい成果を収めた玖珠大会、それに続く長崎大会の貴重な体験を大事にしたいと思えます。
- 本集録は大分県中学校会の歴史的所産であります。熟読玩味してください。執筆された方お世話してくださった方ほんとうに有難うございました。
- 研究集録のはじめのことばとしては誠にそぐわないと自覚しながらも思いをこめてごあいさついたします。

昭和52年2月10日

目 次

○ はじめのことば	大分県中学校長会長	畔津 九郎	
1. 学校経営に於ける同和教育の位置づけと具体的実践について	中津市中学校長	1
2. 欧米の教育事情を視察して	下毛郡耶馬溪町立耶馬溪中学校長	草野 重美	5
3. 新任校長一年の歩み	豊後高田市立都甲中学校長	鴛海 徹	10
4. 学級づくりを基盤にする道徳指導の研究	別府市立朝日中学校長	船石 一雄	13
5. 地域に根ざし、豊かで充実した教育創造への方途	東国東郡国東町立来浦中学校長	寺川 憲雄	18
6. 学校運営について	北海部郡佐賀関町立一尺屋中学校長	挾間 賢治	23
7. 校内研究のあゆみ	臼杵市立東中学校長	安達 昶	25
8. 望ましい生徒指導のありかたを求めて	津久見市立日代中学校長	衛藤 昇	30
9. へき地校における学校経営	大分郡野津原町立今市中学校長	工藤 俊之	35
10. 学校教育目標と日常の教育実践をめぐって	宇目町立木浦中学校長	清家 湛	40
11. 私の学校経営	大野郡千歳村立千歳中学校長	河内山高平	47
12. 体力づくりの問題点とその具体的改善策	日田郡天瀬町立東溪中学校長	阿南 弘義	49
13. 学校経営のあゆみ	日田市立東有田中学校長	佐藤 定	54
14. 本校における「同和教育」の考察	玖珠郡九重町立東飯田中学校長	岩下 恒之	59
15. 学校研究のまとめ	竹田市立南部中学校長	原田 茂夫	62
16. 現代の中学校教育に期待される教師像	速見郡日出町立南端中学校長	土田 隆水	65
17. 学校づくりの2年間その試みと反省	大分市立植田東中学校	倉垣 利男	70

中学校長会研究集録

第 4 集

昭和53年2月

大分県中学校長会研修部編

研究集録 第4集の編集にあたって

大分県中学校長会会長 広瀬 康生

本年は中学校教育創立30周年という、まことに記念すべき年でありました。我が国の学校教育が今日ほど教育の本質を鋭く問い直され、国民の高い関心を呼んだ時はなかったと思います。

この中で、私たちは「将来の展望に立つ中学校教育の推進」を中心課題とし、6月28、9日の第24回大分県中学校長研究集会竹田大会、8月24、5日の第28回全九州中学校長研修会佐賀大会、そして10月27、8日の第28回全日本中学校長研修会東京大会と研究の積み重ねと拡充をすすめてまいりました。

なお、各都市においてはこれらの研究の具体化、実践化への熱心な研修活動が計画的になされ、その成果は本県中学教育の推進に大きく貢献していることは誠に心強いことだと思っています。

しかし昨年7月に新指導要項の告示以来、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を柱に「ゆとり」の問題等がこれからの学校経営に校長の大きな課題であり、悩みであると感じているこの頃であります。

思うに、5・6年新教育課程の完全実施に向い、新年度からの3年間の移行措置は直接その成果がかかっていると思います。全教師が発想を新にし、自ら創意工夫を働かせ、学校として主体性をもった教育活動を活発に展開させるようにしなければならないと思います。これまでの実践の中で継承すべきものは残し改善すべきものは勇気をもって改め、生徒の一人ひとりを生かす指導が出来る学校作りに校長の英智と決断が要請される時だと思えます。「一枚岩に根を下した一つの理想に燃えた全中学校長の結束が願望されています。

第3次給与法が制定され、校長全員の特一等級の実施も間近です。喜ばしいことです。30周年記念事業の一つとして、全日中綱領が制定され、校長の一つの指針としてその活用、定着をお願い申し上げます。

なお全日中基金づくりには、全校長のご理解とご賛同を得て、組織強化と全日中の今後の活動の発展が期待されますことに心から厚く御礼を申し上げます。

本年度校長会の歩みのしめくりとして第4集研究集録を編集しました。大いに参考になるものと期待しております。ご活用をおねがいたします。

終りになりましたが、集録の執筆・編集に当られた校長さん方に厚くお礼申し上げます。

目 次 (第4集)

研究集録第4集の編集にあたって	大分県中学校長会長	広瀬 康生	
1. 同和教育の視点に立った校内研究	中津市立豊陽中学校長	渡辺 彰	1
2. C Sタイムの効果的運営をめざして	下毛郡山国町立槻木中学校長	恵良 正信	5
3. 学校経営における同和教育推進のための位置づけと指導	真玉町立白野中学校長	東 日出彦	9
4. 宇佐の教育中学校教育30年の研究の歩み	宇佐市立駅川中学校長	佐々木孝司	15
5. 同和教育の実践	宇佐郡安心院中学校長	江藤 一郎	19
6. すすんで学習にとりくむ生徒の育成	別府市立浜脇中学校長	瀧川 稔	22
7. 世界の道徳教育	速見郡山香町立上中学校長	豊田 広美	27
8. 本郡中学校における免許外教科教授担任の実態	東国東郡国東町立米浦中学校長	津山 甚一	32
9. 学校経営の改善	大分市立植田東中学校長	後藤 武	35
10. へき地小規模校における学校経営	臼杵市立宮本中学校長	大嶋 雄三	41
11. へき地校における学習過程の工夫	津久見市立四浦東中学校長	祖田 行男	46
12. 自主的日常生活のあり方	大分郡湯布院中学校長	平野 政人	51
13. 学校運営について	北海部郡佐賀関町立一尺屋中学校長	大戸 俊夫	56
14. 本校の安全教育	南海部郡宇目町立小野市中学校長	清杉 又成	59
15. 少年消防クラブ活動	竹田市立祖峰中学校長	金子 十郎	63
16. 校内研究のあゆみ	日田市立大明中学校長	江嶋 秀男	65
17. 自らの体力の向上のためスポーツにはげむ生徒の育成	日田郡天瀬町立東溪中学校長	阿南 弘義	70
18. 「全へき研」分会場校の委嘱をうけて	九重町立飯田中学校長	飯田 正治	78

中学校長会研究集録

第 5 集

昭和54年 2 月

大分県中学校長会研修部編

研究集録 第5集の編集にあたって

大分県中学校長会長 小野久生

昭和53年度におけるわが大分県中学校長会は、時代の要請に応えるべく「人間性豊かな人間形成をめざし、中学校教育の果たす役割を明確にし、これを推進すべき具体的方途をあらゆる角度から究明する」ため第25回の研究会県北大会を開催しました。この大会では全日中盛岡大会や全九州沖縄大会での中心テーマと特に強い関連をはかって、われわれの研究の効率化を促進すると同時に、大分県の独自性をも加味して年度当初から計画が立案され推進されました。また、各郡市中学校長会の研究における現場からの積みあげとよく調整されたことは、今後の研究を進めるうえから内容的にも方法的にも誠に有意義であったと思われてなりません。大分県における研究が、その一部ではあったが沖縄大会で発表されて全九州の研究の大きな中核となり、また全国大会での主要な基盤作りに貢献し得たことは誠に感銘深いものがありました。直接関係された会員の方々に厚くお礼申し上げます。本当にご苦労様でした。

このように、われわれの研究の具体化、実践化への熱心な活動の成果は、そのまま直接的にも間接的にも各方面の期待に応えるものであり、本県中学校教育の前進に大きく寄与し得たことを喜びたいと思います。

昭和53年度はまた新指導要領移行への第1年次でもありました。「ゆとりと充実」を期するため、各教科・領域に於て大胆な精選を採り入れて努力してきましたが、各分野における徹底を一層図る等の意識が自然に強まり熟練・ドリル等の実績が重なる結果となった等々、本年度の反省を謙虚に行って、56年度完全実施を展望した来年度に備えなければなりません。

今ここで「専門職」について殊更に定義づけしようとする意図は毛頭ないが、少なくとも「専門職」たる者は、自分から常に前進のための研修を日々積み重ね、自分から称える「専門職」でなく、第三者がうなずいて称えてくれる「専門職」でありたいと私は念じています。先輩が後輩を指導し、グループで相互に刺戟しあい、少なくとも若い者はそのエネルギーを生徒のために直接ぶつける等研修に対する必要感、使命感を確立するための努力を惜しまず、自分の学校での研修の密度をより濃く、より強くする体制作りに励むことこそ現在教育界に直接要請されている最大のものかも知れません。改善のための英智と決断とをもって一校一校が主体的に前進すべきであり、そのためにも校長会の研究が一層推進され、結束が固められなければならないと思います。

関係者の指摘するいろいろな問題点を一つ一つ精力的に打ち破りながら、全県の校長が一人もれなしに、しかも九州各県に先駆けて特1等級に位置づけられることができました。これは何と云って特筆大書すべきことだと思いますが、給与問題ではまだまだ未解決の問題をかかえており、それだけに校長会の組織強化は更にその度を増さねばならない中に、われわれのための資金作りも確立してその発展が期待される点ご同慶にたえません。

本年度のわれわれの研究のまとめとして、研究集録第5集が完成しました。じゅうぶんに活用されるよう希望するとともに、本集録の執筆、編集にあたられた諸兄に厚くお礼を申し上げます。

中学校長会研究集録

第 6 集

昭和 55 年 2 月

大分県中学校長会研修部編

あ い さ つ

大分県中学校長会 会長 津野 勝光

明けまして、おめでとうございます。

80年代という歴史の一つの節目を迎えまして、会員の皆様方は、日本のよき伝統と文化をふまえ、国際情勢の目まぐるしい変化の中で、今後の日本の進路をどのように選択したらよいか、教育の正常化で何をなすべきかをいろいろとお考えのことと存じます。

昭和54年度におけるわが大分県中学校長会は、さきに、「豊かな人間形成をめざす中学校教育の展開」を主題として、時代の要請に応え、中学校教育の果たす役割を明確にし、これを推進する具体的方途をさぐるために、第26回の研究集会別府大会を開催しました。

この大会は、前年度県北大大会の成果をふまえ全日本愛媛大会や全九州福岡大会と、中心テーマをだぶらせて、私どもの研究の効率化を促進すると同時に、大分県独自の特性を加味して、企画、立案し年度当初から推進してまいりました。

その研究内容、研究方法共に誠に有意義であり、諸兄の現下教育の課題に対する深い認識と、解決への決意に燃えた取り組みとあいまって多大の成果をあげ得たことは御案内の通りであります。

誠に御苦労様でした。

これからの教育は質的転換を要するといわれています。新しい教育課程を進めるに当たっては、過去をふりかえり、実態の上に立ってその成果のうち継承すべきものは残し、改善すべきものは英断をもって改めなければなりません。

われわれはこの教育の一大転換期に当たって、日本の教育を正しく方向づける機に遭遇したことを誇りとし、このために大分県中学校長会のひとりひとりが、強い同志的結合によって力強く結集することを切に願うものであります。

このたび、例年のように大分県中学校長会の研究記録を、「中学校長会研究集録」第6集として集録し、発刊する運びとなりました。

今回の集録は、テーマを規定せず、校内研究や学校運営の紹介。又、各都市校長会で共同研究したものや学校長個人の実践研究にもとづいた、その成果の結晶を広く及ぼし、長く伝えるため、これまでのように、このような形で集成しました。

申すまでもなく、私どもの使命は、常に研鑽を積み識見を高めて職責を遂行することが第一であります。

各都市においては、新教育課程編成の移行措置2年次をむかえ、第26回 大分県中学校長研究集会別府大会以降、大会趣旨にそってその研究の具体化、実践化への熱心な研修活動が計画的になされ、その成果は本県中学校教育の推進に大きく貢献していることと思います。

それぞれの学校や個々の校長が、急速に進展する社会情勢に即応しながら、人間教育の真髄を求める教育の至難さは、なみたいていのことではありません。

それゆえにこそ、積み重ねてきた実践の成果を研究集録として作成し、これからの研究の道標とし、実践の足場として深化と発展とを試みるのであります。

この意味で、この集録は、全県下各中学校長にとって身近な参考書となり、学校経営の改善のうえに、又、今後の教育改革への足がかりとして大きな意義をもつものと確信いたします。

じゅうぶんにご利用されるよう希望するとともに、更により高い教育研究を志向されますよう切望してやみません。

終わりになりましたが、本集録の作成にあたり格別の御尽力を賜りました関係の諸兄に、心から敬意と感謝を捧げてあいさついたします。

中学校長会研究集録

第 7 集

昭和56年2月

大分県中学校長会研修部編

あ い さ つ

大分県中学校長会 会長 津野 勝 光

明けまして おめでとうございます。

第3学期を迎えましたが、校長各位におかれましては、学校運営の総仕上げに、意欲的に取り組んで、おいでのことと存じます。

さて、教育現場は急速に進歩、激動する社会の生活環境によって、次々と幾多の問題や、反省すべき問題が発生しています。「青少年非行の増加・低年齢化・暴力化・そして女性非行の激増」また、「知育偏重の教育により、学習内容への不適応や無気力な青少年の増加」等、いずれをとっても容易ならざる重要問題が山積しています。今こそ教育は如何にあるべきか、学校の最高責任者として考え、見直すときであると思います。

昭和55年度における大分県中学校長会は、時代の要請に応えるべく「豊かな人間性をめざす中学校教育の確立」をテーマに、中学校教育の果す役割を明確にし、これを推進すべき具体的方途をあらゆる角度から究明して来ました。第27回大分県中学校研究大会（湯布院大会）全会員参加をはじめ、全日中山梨大会、全九州鹿児島大会と沢山の皆様のご参加を得まして、これらの課題解決の研究を重ねてまいりました。特に県研究大会は、その研究内容や研究方法とも誠に有意義であり教育課題に対する深い認識と、解決への決意に燃えた取り組みとあいまって、多大の成果をあげました。誠に有難く深く敬意と感謝を申し上げます。

いよいよ新教育課程の全面実施を明年度にして、その編成にご尽力のことと存じます。今度の改訂の趣旨をふまえ、魅力ある学校づくりや、きめこまかい行き届いた教育のあり方を、教師と充分共通理解をはかり、創意工夫して、地域や学校の実態に即した教育課程の編成や展開を推進しなければならぬと思います。

今後時代は益々複雑化し、人間性の喪失や価値感の混乱につつき幾多の精神的ひずみが生ずると思いますが、校長各位には、勇気と決断をもって取り組み、使命感に徹し、研修はもとより教育専門職としての資質や社会的地位向上のため、相たずさえ、校長の主体性と相互の連帯性を深め、今後の中学校教育に精進していただきたいと思います。

この度、例年のように「大分県中学校長会の研究集録」第7集を発刊する運びとなりました。この集録は、テーマを規定せず、校内研究や学校運営の紹介、又は、各郡市校長会で共同研究したものや学校長個人の実践研究にもとづいた成果の結晶として編集いたしました。この集録が今後の教育改革への足がかりとして、大きな意義をもつものと確信いたします。どうぞ十分に活用されますよう希望するとともに、本集録の執筆、編成にあられた諸兄に厚くお礼を申し上げます。

目 次

本校の同和教育について	中津市立今津中学校長	塚 崎 善 久	1
豊かな人間性を育てる学園祭	下毛郡耶馬溪町立耶馬溪中学校長	深 水 明	5
教育課程の改定を前にして	豊後高田市立河内中学校長	友 延 幸 夫	9
自らすすんで体力づくりに励む活力ある生徒の育成	宇佐市立西部中学校長	宇留島 住 男	11
教師と生徒のふれあいを深める指導	別府市立青山中学校長	渡 部 冠	16
モラルの高揚と校長の指導性	速見郡日出町立南端中学校長	本 田 一 好	21
校内研修のあり方と校長の指導性	姫島村立姫島中学校長	桐 畑 末 定	25
生活の基本をふまえ創造性豊かな生徒の育成	大分市立鶴崎中学校長	篠 田 明	28
学校研究の紹介	佐賀関町立一尺屋中学校長	加 口 仁 吉	32
臼杵市教育研究協議会指定学校研究	臼杵市立北中学校長	川 野 章	35
中学校における障害児理解推進の指導はどのように行なえばよいか	津久見市立第二中学校長	瀧 本 信 夫	39
学級経営における人権意識の高揚	大分郡教振中学部会		43
両親撲殺事件のフロイト的考察	南海部郡蒲江町立下入津中学校長	山 本 達 雄	47
小人数、小規模校の生徒会活動	竹田市立双城中学校長	小 倉 芳 人	50
失われたときめきを求めて	三重中学校長	小田部 憲 祺	55
一人ひとりが生きる学校生活を求めて	大野郡千歳村立歳中学校長	二ノ宮 義 幸	56
新教育課程の施行を目前にして	大野郡緒方町立緒方中学校長	下 田 文 一	58
本校の学校経営	大野郡犬飼町立犬飼中学校長	新 宮 信 幸	59
青少年の健全育成活動の取り組み	日田市立東部中学校長	横 田 公 望	60
日田郡校長会研修計画 55年度の試み	日田郡大山町立大山中学校長	森 山 茂 平	65
研究のあゆみ	玖珠郡九重町立東飯田中学校長	岩 下 恒 之	70